

## 1 『地域に愛着と誇りを持ち、山村の価値を次の世代につなぐように努める』ための取組構想

- (1) 義務教育課程で地域オリジナルの教育を受けることができる環境をつくり、子どもの郷土愛を育てていきます。

### <具体的な取組例>

- ① 稲武ワークスペースを活用して先端技術を学べる『プログラミング教室』、『風水力発電の技術体験』等の実施
- ② 学校の授業で稲武の伝統文化である『稲武太鼓』、『養蚕』、『人形浄瑠璃』など学びの場の実践

- (2) 豊かな自然環境を活かし、再生可能エネルギーによるカーボンニュートラルを推進している魅力的なまちづくりに取り組み、電気料の家計負担の軽減や災害時の電源確保などにつなげながら、稲武地区に居住することの誇りと安心感を生み出していきます。

### <具体的な取組例>

- ① 面ノ木風力発電所や大井平公園の小水力発電など既存の設備を再エネのシンボルとしてPR
- ② 一般家庭でも、気軽に取り組むことができる発電等（マイクロ風力・水力）の仕組みを研究

## 2 『空き家、農地、森林が地域の共有財産であることを認識し、放置しないよう努める』ための取組構想

- (1) 今後、空き家になる可能性が高い世帯（空き家予備軍）に対し、あらかじめアプローチしながら活用できる物件の掘り起こしをするなど、地域ぐるみで空き家の放置を少なくしていきます。

### <具体的な取組例>

- ① 地域課題解決事業を活用して定住促進計画を策定し、定住対策に取り込む組織の強化

- (2) 先進技術を活用しながら負担感や抵抗感の少ない農業を目指すことで農業従事者を確保するとともに、遊休農地や山林を貸し出しできる仕組みづくりに取り組んでいきます。

### <具体的な取組例>

- ① 稲武ワークスペースを通じて、都市部企業と連携しながら、獣害対策草刈り等の自動化などの試行的実施
- ② 稲武版の農地バンク、山林バンク制度をつくり、利用希望者への物件紹介

- (3) 財産区に対する理解を深めるとともに、今後予想される自治区統合などのコミュニティ形成の変化に柔軟に対応し、地域特有の森林財産を守り繋いでいくことができる仕組みを研究していきます。

### <具体的な取組例>

- ① 財産区勉強会の実施
- ② 自治区から自治会への移行などを含めた地域自治の研究

### 3 『都市と山村の多様な関わり方を認め、山村地域へ移住する人や関わる人を受け入れるように努める』ための取組構想

- (1) 地区外に移り住んでいる親戚や知人に対して、自分事として一緒になって地域行事などを実践していける関わり方を促しながら、地域活動の維持につなげていきます。

#### <具体的な取組例>

- ① 地区外の親戚や知人には、出来る限り地域の行事（祭りや奉仕作業など）に参加してもらえるよう地域住民に周知・啓発

- (2) 稲武に興味関心を持ち、移住を検討している人などと積極的に交流しながら、互いに協力・連携できる良好な関係性を構築していきます。

#### <具体的な取組例>

- ① 都市部との接点を増やしていくための、稲武ワークスペースの利活用促進

- (3) 移住した共働き家庭や子育て家庭が、安心して子育てできるよう地域ぐるみで支え合う仕組みづくりを行い、市営住宅も含めて移住を希望しているタイミングで住まいが選択できるよう、紹介できる住まい物件を増やしていきます。

#### <具体的な取組例>

- ① 放課後の子どもたちの預かりや、見守りの実施  
② 空き家の発掘を促進、市営住宅の入居要件の見直し、緩和

★以上の取組構想について、私たちが主体的に実践していくことに当たり、必要に応じて行政の伴走支援をお願いします。